

日本骨髄腫学会会員各位

第 47 回学術集会（2021 年 5 月 20 日（金）～5 月 22 日（日）・岐阜グランドホテル・テーマ：「創造と共生」）の一般演題募集が始まりました。

<https://site2.convention.co.jp/47jism/>

一般演題募集期間：2021 年 10 月 22 日（金）～12 月 15 日（水）正午

一部のシンポジウム、ワークショップ、ポスターへの応募が可能です。

また、今回からの新しいカテゴリー（一般演題カテゴリー以外のカテゴリー）として、①Late-Breaking Abstracts (LBA)、②Trials in Progress (TiP)、③Encore が設定されています。

①の応募期間は 12 月上旬予定ですが、②③は一般演題応募期間と同一です。

また、初めての試みとなりますが、「JSM Travel Award for IMS-IMW」を設置しました。本学術集会での発表後に、IMS (International Myeloma Society)が主催する IMW (International Myeloma Workshop)への現地発表に対する Travel Award です。こちらについても多くの応募をお待ちしております。詳細は、学術集会 HP を参照ください。

現在、準備組織委員会およびプログラム委員会において、準備が進行中ですが、一般社団法人化され組織強化された日本骨髄腫学会として、新たな試みが多く取り入れられた学術集会となる予定です。

テーマである「創造と共生」は、日本骨髄腫学会が学術団体の立ち位置で、COVID-19 パンデミック下にあっても、医学・医療の進展を止めず、様々な意味での分断を乗り越えて、骨髄腫患者・家族・医療提供者に学術の立場から希望を提示するというメッセージです。

COVID-19 対策に感染症の専門家による監修を取り入れ、可能な限り現地およびオンラインのハイブリッドでの開催を予定しております。

今回、次世代研究者の活躍を促進することをもう一つの大きなミッションとしており、多くの口演枠を用意しており、会員の皆様からの多くの演題登録をお願い致しますとともに、活発な学術集会での学術的な議論を通じて、新たな時代が始まることを実感いただけるよう準備を進めておりますので、この期間にぜひ活発な演題登録をお願いします。

2021 年 10 月 22 日

第 47 回日本骨髄腫学会学術集會会長
大垣市民病院血液内科 小杉浩史